

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器)

環境に対する有害性:

区分外

GHSラベル要素



危険有害性情報:

飲み込むと有害のおそれ(経口)

吸入すると有害(気体, 蒸気, 粉塵, ミスト)

重篤な眼の損傷

重篤な薬傷・眼の損傷

臓器の障害

長期または反復暴露による臓器の障害

注意書き: 予防策

すべての安全注意および使用説明書を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

換気のよい区域でのみ使用すること。

眼、皮膚または衣類に付けないこと。

粉塵、ヒューム、ミストを吸入しないこと。

取扱後はよく眼や手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

救急対応

吸入した場合:

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、衣服、ネクタイ、ベルトなどをゆるめ、毛布などで保温して安静にする。鼻をかませ、うがいをさせる。直ちに医師の診察を受ける。その間、呼吸が停止、あるいは弱い場合には、状況に応じて人工呼吸を行う。有害性が高いので、介護救助者自身も暴露されないよう注意する。また嘔吐がある場合は、頭を横向きにして窒息に注意する。症状は遅れて現われることがある。

皮膚に付着した場合:

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。多量の水または適量の水を流しながら洗浄する。必要に応じて石鹼などを用いて十分に洗い落とす。その場で痛みなどの症状がなくても、障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受けること。

目に入った場合:

直ちに清浄な流水で15分以上洗浄した後、医師の診察を受ける。洗浄の際には、まぶたを開いて眼球のすみずみまで水が行き渡るようにする。寸秒でも早く洗眼を始め、入った物質を完全に洗い流す必要がある。洗眼を始めるのが遅れると障害を増大させる恐れがある。

飲み込んだ場合:

水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。

無理に吐かせない。

貯蔵

冷暗所にて施錠して保管すること。